

第15期中間報告書

平成27年12月1日から平成28年5月31日まで

株式会社サーラコーポレーション

証券コード：2734

ごあいさつ

サーラコーポレーションの株式を保有していただき、誠にありがとうございます。
ごぞいます。厚く御礼申し上げます。

第15期中間報告書（平成27年12月1日～平成28年5月31日）をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。



代表取締役社長

神野 晋二

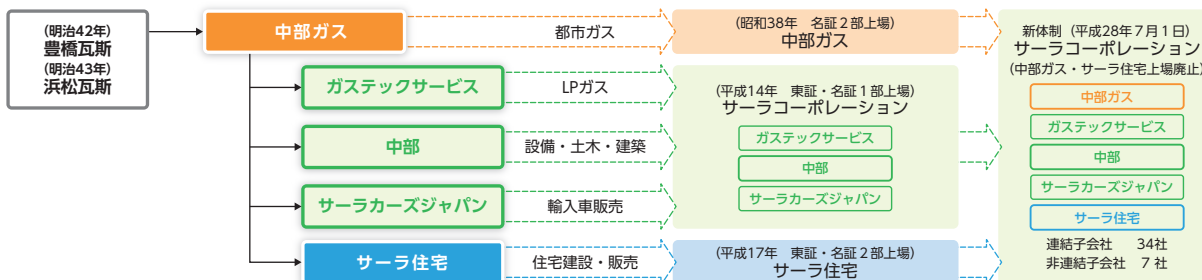
株主の皆さまには、ご高承のとおり、平成28年7月1日付で、当社は中部ガス株式会社及びサーラ住宅株式会社を株式交換により完全子会社化し、サーラグループは新たな体制に移行しました。

サーラグループは、明治42年の豊橋瓦斯株式会社（現 中部ガス）創業以来、常にお客さまや地域社会の新たなニーズに応えることで、生活全般に関わるさまざまな分野へ事業を展開してまいりました。

さらに、成熟化がますます進む社会のなかで、社会ニーズに基づく新たな事業モデルを創造することによって企業価値の一層の増大を図るためには、グループの一体的な事業展開を強力に推進することが必要と判断いたしました。

今後は、当社を核に、グループ内の事業再編や構造改革を通じて、持続的な収益力の強化及び企業価値のさらなる向上を図り、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するとともに、株主の皆さまをはじめとする全てのステークホルダーの皆さまのご期待に一層応えてまいります。

今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



■ トップインタビュー ～グループ再編の理由についてお聞きしました～

Q

サーラグループの再編を行った理由を教えてください。

A

これまでは3社がそれぞれ経営の独立性を保ちながら成長を目指してきましたが、これまでの体制での部分的な連携にとどまらず、サーラグループが一体となって、各社の多様なサービスを個々のお客さまにベストミックスで提供し、お客さまの暮らしやビジネスを総合的にサポートしていく事業展開とすることが、持続的な成長のために必要であると考え、グループ再編を行うことを決定しました。

Q

なぜこのタイミングで実施したのでしょうか。

A

サーラグループのコア事業であるエネルギー事業に関しては、平成28年4月に電力小売自由化が始まり、平成29年4月には都市ガスの自由化が予定されています。このようなエネルギー自由化への対応や、中長期的な少子高齢化の進展に伴う地域社会の変化、さらには資本市場におけるコーポレートガバナンス強化の要請もあり、このタイミングで資本の面でも一体化を図り、マーケット変化への迅速な対応、グループ経営資源の最適配分、一層の経営効率化により企業価値をさらに向上させていく必要があると判断しました。

サーラグループ再編の背景とねらい

＜事業環境の変化＞
エネルギーの自由化
少子高齢化、省エネ化など地域・社会の変化

サーラ
コーポレーション

サーラグループが一体となって
地域の暮らしやビジネスを総合的に
サポートする事業展開へ

中部ガス

- ・経営資源の最適配分
- ・事業重複の整理、経営効率化
- ・お客さま基盤の有効活用
- ・サーラグループの企業価値向上

サーラ住宅

＜資本市場の要求＞
コーポレートガバナンス強化

1 ガバナンスの強化

- 持株会社体制の徹底による意思決定の一元化・迅速化
- 事業の重複・競争を排除し、経営資源の最適配分を行うことで企業価値の最大化を目指す

2 お客さま基盤の活用と強化

- 地域密着・暮らし密着型サービスのノウハウ蓄積による約50万件のお客さまとの信頼関係のさらなる強化
- お客さま情報のグループ内一元管理、サーラプラザ店舗・webサイト活用による「SALA」ブランドの推進および展開

3 総合的な事業展開

- エネルギー事業
 - 都市ガスとLPガス事業の統合・再編
 - 家庭用向けには、地域ごとにきめ細かな相談窓口を整備し、電力を含めたエネルギーに加えて、リフォームや宅配水など暮らしのサービスを提供
 - ビジネスのお客さまには、省エネ診断から機械・設備の設計、施工、メンテナンスまで含めた総合エネルギーサービスを提供
- 住まい事業
 - 戸建住宅及びマンションの建設、不動産売買・賃貸仲介、付帯する金融サービスなどのさらなる連携強化を推進し、お客さまの住まいに関する総合的なサービスを提供

4 一層の経営効率化

- 重複する本社部門、営業部門の再編による業務効率化・高度化
- エネルギー事業における購買機能の集約による仕入れコスト削減等

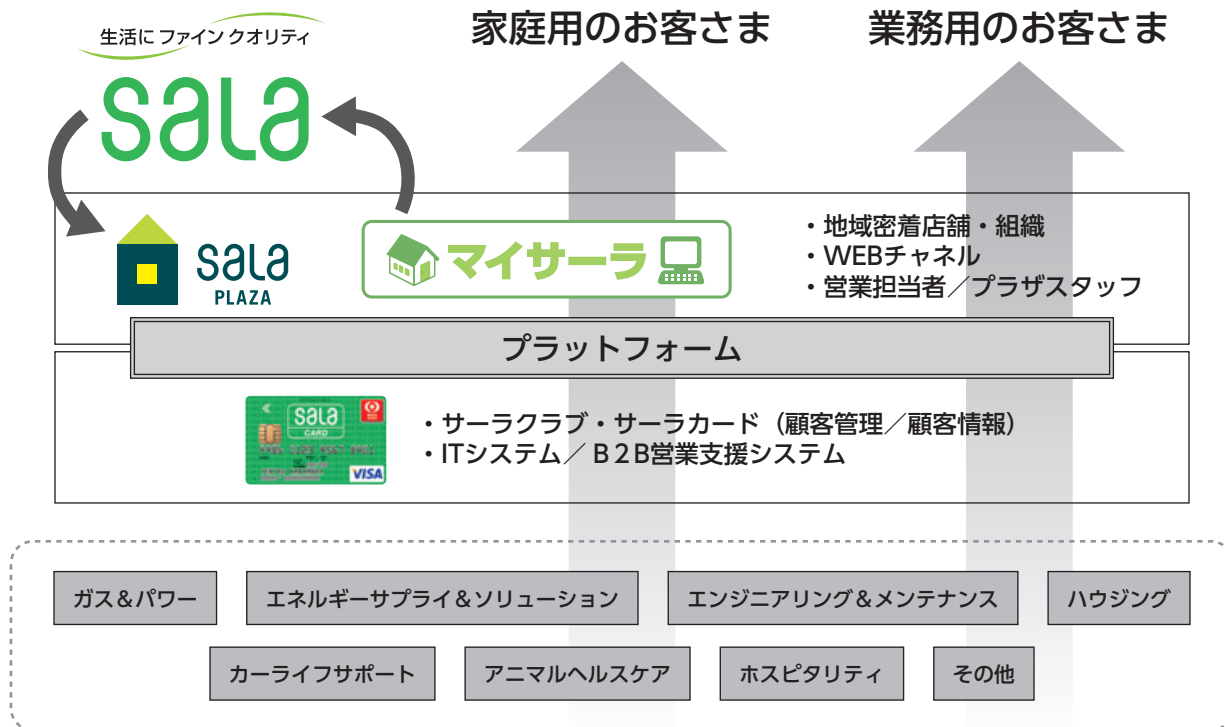
Q

エネルギー事業・住まい事業における総合的な事業展開について、具体的に教えてください。

A

エネルギー事業につきましては、愛知県東部及び静岡県西部において中部ガスが都市ガス事業、ガステックサービス等が愛知、静岡など1都11県においてLPガス事業を展開しています。これまで都市ガスとLPガスに分かれていたエネルギー事業の統合・再編を進めることにより、事業の

重複・競合を解消するとともに、他の事業との連携を強化します。今後は、中部ガスとガステックサービスとの間で進めている、営業活動やサービスの共同化をさらに推進し、同地域におけるサーラグループのエネルギーシェアアップを図るとともに、サーラプラザやサーラカードを活用し、より良いサービス、商品を提供するうえで基盤となるお客さまとのつながりの強化に努めていきます。家庭用のお客さまには、電力を含めたエネルギー供給に加えて、リ



フォーム、宅配水など暮らしを豊かにするサービスを拡充していきます。また、業務用のお客さまには、省エネ診断やお客さまに最適なエネルギー提案を行うほか、設計から、施工、メンテナンス、業務用のリフォームなど総合的なエネルギーサービスを提供していきます。

住まい事業につきましては、これまで3社に分かれていた戸建住宅やマンションの建設及び販売、中古

住宅の再販、リフォーム、不動産賃貸などの分野においてさらなる連携の強化を進めるとともに、再開発事業やまちづくりに至るまで、お客さまの住まい・暮らしに関する総合的なサービスを提供していきます。また、戸建住宅ではコア技術である「外断熱・二重通気工法」採用商品の拡販により注文住宅の顧客層の拡大に努めていきます。分譲面では、高付加価値で魅力的な分譲住宅の提供に努めていきます。

「より豊かな暮らし・社会」の持続的な価値創造

より良い暮らし・住まいのサービス提供

戸建住宅	不動産	マンション	リフォーム
輸入車	宅配水		

工場・病院などビジネスユーザーのサポート

省エネ	リニューアル	保険	動物薬
設備	IT	物流	

サーラ住宅
(住宅建築・販売)
管理棟数約19千戸

サーラカード
会員数約117千人
サーラプラザ
11店舗・来場約30万人

輸入車販売
12店舗
管理顧客数約24千件



中部ガス（都市ガス）
約230千件
ガステックサービス（LPガス）
約220千件

エンジニアリング＆
メンテナンス
(社会インフラ整備)

動物用医薬品
業界シェアトップクラス

にぎわい・元気のあるまちの創造

まちづくり	ホテル	スポーツ	サーラクラブ
サーラプラザ	レストラン	カルチャー	

豊かなまちのインフラ整備・メンテナンス

都市ガス	電力・水素	建築	設備
LPガス	CATV	土木	メンテナンス



子会社となる2社について教えてください。



中部ガス

中部ガスは、愛知県東部及び静岡県西部において、約23万件のお客さまへ都市ガスを供給する事業を行っています。平成27年10月には、静岡ガス株式会社と共同で建設を進めてきました静岡、浜松間を結ぶ天然ガスパイプラインの完成により、新たな供給体制が確立され、安全で安定した天然ガスの供給を行っています。また、連結子会社8社を有し、電力の供給、ガス機器の販売・点検・修理、不動産売買・賃貸仲介、マンション販売、スポーツクラブの運営等、地域に密着した事業を展開しています。

サーラ住宅

サーラ住宅は連結子会社3社を有し、愛知県、静岡県西部地区を中心に、木造軸組工法による注文・分譲住宅の建設・販売、リフォーム事業、住宅用資材販売を行っています。注文住宅事業では、コア技術である「外断熱・二重通気工法」による健康で快適な住まいづくりに取り組んでいます。分譲住宅事業では、注文住宅で培ったノウハウや技術を活かし、長期優良住宅認定要件を満たす高品質な住まいの販売を行っています。



供給エリア

◆中部ガス

設 立	昭和18年9月1日
従業員数	542人
資 本 金	31億円
売 上 高	439億円
経常利益	18億円
総 資 産	663億円

※平成27年12月31日現在 数値は連結ベース



外断熱・二重通気工法



◆サーラ住宅

設 立	昭和44年11月17日
従業員数	459人
資 本 金	10億円
売 上 高	292億円
経常利益	6億円
総 資 産	234億円

※平成27年10月31日現在 数値は連結ベース



Q

7月1日以降の経営体制について教えてください。

A

平成28年7月1日付で、中部ガス代表取締役専務の鳥居裕、サーラ住宅代表取締役社長の山口信仁の両氏が、当社執行役員に就任しました。

両氏は、同時に新設したセグメントである「ガス&パワー」（都市ガス事業等）、「ハウジング」（住宅事業等）をそれぞれ担当し、サーラグループが企業価値のさらなる増大を図る上で、それぞれのセグメントの代表者を務めていきます。なお、取締役・監査役に変更はありません。



Q

グループ再編後の事業計画や中期計画を具体的に教えてください。

A

平成28年11月期の業績予想につきましては、中部ガス及びサーラ住宅の平成28年7月1日から平成28年11月30日までの計画を織り込んで修正しています。また、業績予想の修正と同時に、新体制の移行に関する記念配当の実施に伴う配当予想の修正を行っております。詳細につきましては、8ページをご覧ください。今回の新体制への移行は、従来の上場3社体制から当社が持株会社として全ての事業会社を統括する体制へと変更するものです。再編によって見込まれるシナジー効果につきましては、現在取りまとめ中です。サーラグループ全体でのお客さま基盤の活用と強化、エネルギー事業の統合・再編、リフォーム事業の強化、本社部門や営業部門の統合による一層の経営の効率化などを推進していく予定です。また、今回の再編をスタートして、サーラグループは新たな時代の価値創造に向けたさまざまなプログラムに着手しています。具体的な内容につきましては、中期経営計画として取りまとめ、平成29年1月頃を目途に数値目標とあわせて公表したいと考えております。

中間期業績ハイライト

当中間期におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、中国や新興国の景気減速並びに金融市場の変動による影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

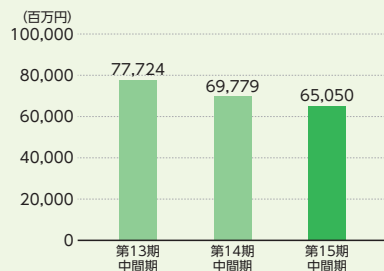
当社グループを取り巻く環境につきましては、エネルギー事業では需要期である冬期の平均気温が高めに推移したことにより、LPガスの販売量が減少しました。また、原油価格の下落が続きLPガス、石油製品の仕入価格が前年同期を下回り、これに対応した価格改定により販売価格は低下しました。建設土木事業では、労務費や原材料価格の上昇により工事原価の増加が懸念される状況が続くなか、民間の設備投資に持ち直しの兆しがみられました。輸入車販売事業では、平成27年9月に発生した独フォルクスワーゲン社の排ガス不正問題の影響が残りました。畜産分野では、牛肉など畜産物の価格が例年に比べ高値で推移したことにより、関連

商材の需要が高まりました。

当中間期の業績につきましては、主に仕入価格の下落に対応したLPガス、石油製品の販売価格の改定により、売上高は65,050百万円と前年同期比6.8%減少しました。売上原価はLPガス、石油製品の仕入価格の低下や、輸入車販売台数の減少などにより、前年同期比8.7%減の48,055百万円となりました。売上総利益は前年同期より168百万円減少し、販売費及び一般管理費は64百万円増加したため、営業利益は前年同期比6.3%減の3,439百万円、経常利益は前年同期比4.8%減の3,597百万円とそれぞれ減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等費用の合計額が1,170百万円と前年同期比25.3%減少したことなどにより、前年同期比10.9%増の2,263百万円と増加しました。

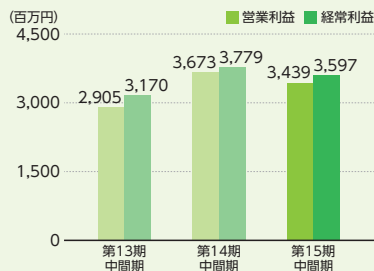
売上高

65,050 百万円
前年同期比 6.8%減



営業利益

3,439 百万円
前年同期比 6.3%減

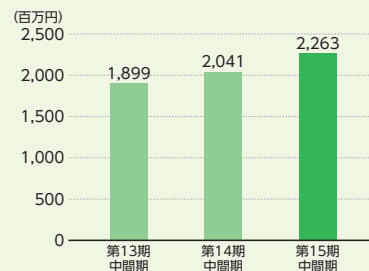


経常利益

3,597 百万円
前年同期比 4.8%減

親会社株主に帰属する 四半期純利益

2,263 百万円
前年同期比 10.9%増



※当中間期より、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

通期連結業績の見通し

平成28年11月期の連結業績予想につきましては、平成28年7月1日付で中部ガス株式会社及びサーラ住宅株式会社を完全子会社化したことに伴い、両社の計画（平成28年7月1日～平成28年11月30日）を織り込んだ上で前回予想を修正しました。

「売上高」

- ・エネルギーサプライ&ソリューション事業においてLPガス、石油製品の販売価格が低い水準で推移することが見込まれるものの、上記子会社化に伴い前回予想を上回る見込みです。

「営業利益」、「経常利益」

- ・新たに加わるガス&パワー事業は、都市ガス事業の特徴として気温の寒暖の影響を強く受けることから、上期は販売量が伸び利益を計上します。一方、下期は販売量が減少し損失を計上する傾向があります。当期は下期の計画のみ合算するため、営業利益、経常利益は前回予想を下回る見込みです。

「親会社株主に帰属する当期純利益」

- ・上記子会社化に伴う負ののれん発生益等の計上により、前回予想を大幅に上回る見込みです。なお、負ののれん発生益等を除きますと、1,020百万円となる見込みです。

通期連結業績予想の修正

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)
前回発表予想 (A)	133,000	3,000	3,200	1,800
今回修正予想 (B)	148,000	1,800	2,100	9,020
増減額 (B-A)	15,000	△1,200	△1,100	7,220

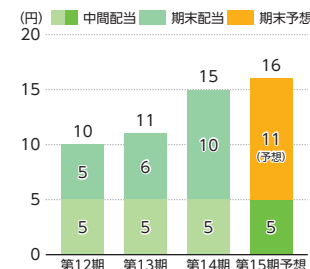
配当について

中間配当金は、前回予想通り5円とさせていただきます。

期末配当金につきましては、前回予想の9円に新体制の移行に関する記念配当2円を加えた1株当たり11円とし、年間配当金の予想を16円としております。

以上により、年間配当金は3期連続増配となる見通しです。

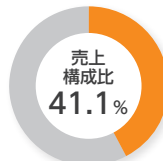
配当金



事業セグメント別の概況

エネルギーサプライ&ソリューション事業

売上高	26,715百万円 (前年同期比 15.5%減)	↓
営業利益	2,530百万円 (前年同期比 8.0%減)	↓



事業内容

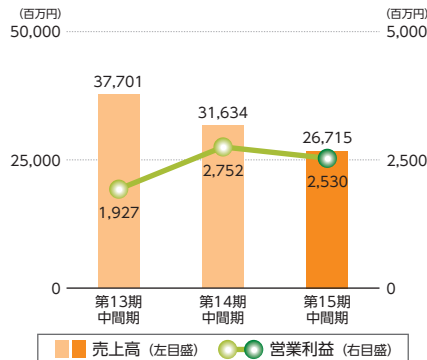
LPガス、石油製品、高圧ガス及び関連機器の販売、リフォーム、エネルギー輸送、資産賃貸

当中間期のポイント

- ・LPガスは暖冬の影響により家庭用を中心に販売量が減少、仕入価格の下落に対応した販売価格の改定により売上高は減少
- ・LPガスの販売量が減少したことに加え、リフォーム商材などの売上が低調に推移したことなどにより、営業利益は減少

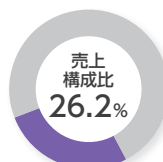
トピックス

- ・ガステックサービス(株)は、グループ会社の中部ガス(株)とともに「サーラeエナジー(株)」を通じて平成28年4月より電力小売販売を開始するとともに、発電事業新会社「サーラeパワー(株)」を設立（詳しくは12ページをご覧ください）



エンジニアリング&メンテナンス事業

売上高	17,061百万円 (前年同期比 2.0%増)	↑
営業利益	1,125百万円 (前年同期比 51.5%増)	↑



事業内容

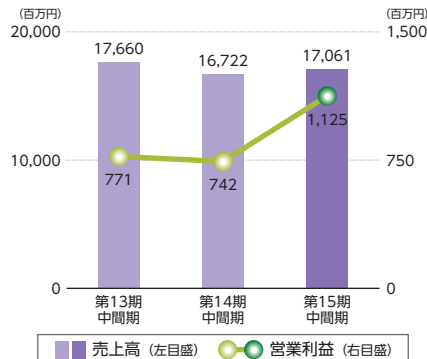
都市インフラ整備、設備工事・メンテナンス

当中間期のポイント

- ・土木、建築の両部門において完成工事が減少
- ・設備部門においてこれまで受注した大型物件の完成工事が増加したことなどにより、売上高は増加
- ・設備部門の完成工事高の増加に加え、各部門における利益率改善の取り組み効果により、営業利益は増加

トピックス

- ・神野建設(株)が、港湾土木工事に使用する新造船「第十八しんあい丸」を建造し、進水式を実施



カーライフサポート事業

売上高 6,491百万円
(前年同期比 7.2%減)

営業損失 41百万円
(前年同期は営業利益312百万円)

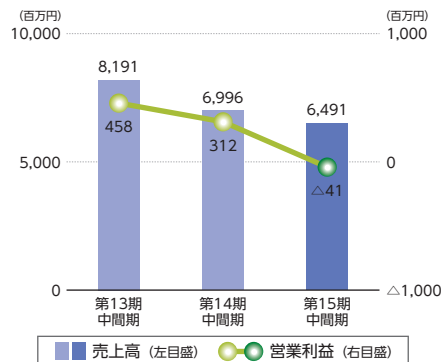


事業内容

フォルクスワーゲン9店舗・アウディ3店舗（正規ディーラー）、中古車センター3店舗、車検・整備、オートリース

当中間期のポイント

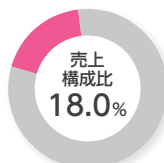
- ・輸入車販売部門は、独フォルクスワーゲン社の排ガス不正問題の影響が残るなか、既存ユーザーに対する販売活動を強化したものの、フォルクスワーゲンの販売台数は減少
- ・下取り車の減少により、中古車部門の販売台数は減少



アニマルヘルスケア事業

売上高 11,703百万円
(前年同期比 4.2%増)

営業利益 310百万円
(前年同期比 44.2%増)

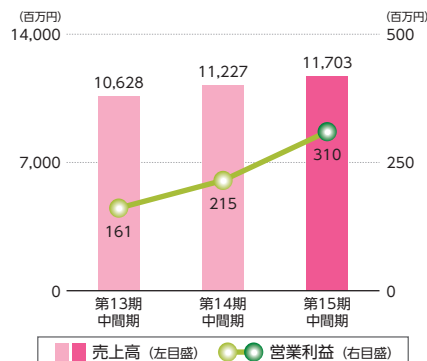


事業内容

ペット用医薬品・療食法、動物用医薬品、畜産用機械設備、小動物医療機器の販売

当中間期のポイント

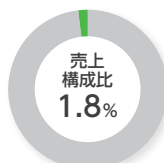
- ・畜産分野は食肉の市況価格が高値で推移したため、関連商材の販売が上向き
- ・ペット関連分野は、動物用医薬品の早期受注など営業活動の強化により、販売が堅調に推移



ホスピタリティ事業

売上高 1,154百万円
(前年同期比 3.7%減)

営業損失 151百万円
(前年同期は営業損失108百万円)

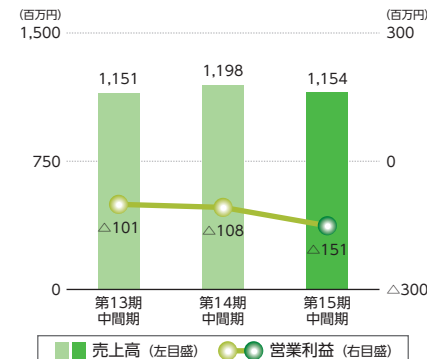


事業内容

ホテル事業、飲食店事業

当中間期のポイント

- ・宴会部門は前年同期並みで推移したものの、プライダル部門において挙式組数が減少
- ・宿泊部門は客室稼働率が低下



連結決算の概況

● 連結貸借対照表（要旨）

[単位：百万円]

科 目	当中間期末 平成28年5月31日	前 期 末 平成27年11月30日
資産の部		
流動資産	37,930	39,286
固定資産	54,573	55,036
有形固定資産	44,847	45,328
無形固定資産	979	897
投資その他の資産	8,746	8,810
1 資産合計	92,504	94,322
負債の部		
流動負債	39,743	41,674
固定負債	19,859	21,717
2 負債合計	59,602	63,391

● 連結損益計算書（要旨）

[単位：百万円]

科 目	当中間期 平成27年12月1日～ 平成28年5月31日	前中間期 平成26年12月1日～ 平成27年5月31日
4 売上高	65,050	69,779
売上原価	48,055	52,615
売上総利益	16,995	17,163
販売費及び一般管理費	13,555	13,490
5 営業利益	3,439	3,673
営業外収益	266	222
営業外費用	108	116
5 経常利益	3,597	3,779
特別利益	36	39
特別損失	8	32
税金等調整前四半期純利益	3,625	3,785
法人税、住民税及び事業税	890	1,073
法人税等調整額	280	494
四半期純利益	2,455	2,217
非支配株主に帰属する四半期純利益	191	176
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,263	2,041

[単位：百万円]

科 目	当中間期末 平成28年5月31日	前 期 末 平成27年11月30日
純資産の部		
株主資本	30,280	28,399
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	9,022	9,019
利益剰余金	14,187	12,309
自己株式	△955	△955
その他の包括利益累計額	1,095	1,154
その他有価証券評価差額金	582	627
退職給付に係る調整累計額	513	526
非支配株主持分	1,525	1,377
3 純資産合計	32,901	30,931
負債純資産合計	92,504	94,322

連結決算のポイント

1 資産

資産は92,504百万円となり、前期末と比較して1,818百万円減少しました。これは主に、仕掛品の減少によるものです。

2 負債

負債は59,602百万円となり、前期末と比較して3,788百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金とその他流動負債が減少したことによるものです。

3 純資産

純資産は32,901百万円となり、前期末と比較して1,970百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

4 売上高

主に仕入価格の下落に対応したLPガス、石油製品の販売価格の改定により、売上高は65,050百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

5 営業利益及び経常利益

売上総利益の減少、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は3,439百万円（前年同期比6.3%減）、経常利益は3,597百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

■発電事業新会社「サーラeパワー株式会社」を設立

平成28年6月21日付で、発電事業を行う連結子会社「サーラeパワー株式会社」を設立しました。

この発電所では、東南アジアからの輸入PKS（パーム椰子殻^{やしがら}）を主燃料とし、東三河や遠州地区から排出される未利用材などを混焼させて発電します。発電した電力は、FIT制度を活用して電力会社またはソーラエナジー株式会社（連結子会社）を含む新電力に販売していく予定で、「電力の地産地消」にも寄与できる地域連携の象徴的な事例になると考えています。

サーラグループは、クリーンで安定した自己電源による発電事業を展開し、今後も地域の総合エネルギー企業として発展していきます。

【今後のスケジュール】

平成28年内 発電所の建設に着手
(建設予定地：豊橋市臨海部)

平成31年4月頃 発電所の本稼働



なお、当社連結子会社のサーラエナジー株式会社は、平成28年4月1日より、これまでの工場・商業施設等に加え、一般のご家庭・店舗のお客さまに向けて電力販売を開始しました。平成28年6月末時点のお客さま契約件数は8,464件と、契約獲得に向けた取り組みを順調に進めています。新たに始めた電気と当社グループのさまざまな商品・サービスを組み合わせ、一人ひとりのお客さまのニーズに合わせたご提案を積極的に行うことで、お客さまの暮らしをサポートしていきます。



会社の概要及び株式の状況

(平成28年5月31日現在)

- 商 号 株式会社サーコーポレーション
- 設 立 平成14年5月1日
- 本社所在地 豊橋市駅前大通一丁目55番地 サーラタワー
- 資 本 金 80億2,500万円
- 証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
名古屋証券取引所 市場第一部
- 役 員 代表取締役会長 中 村 捷 二
代表取締役社長 神 野 吾 郎
代表取締役専務 松 井 和 彦
取締役 角 谷 歩
取締役 (社外) 一 柳 良 雄
取締役 (社外) 石 黒 和 義
監査役 (常勤) 原 田 保 久
監査役 (社外) 杉 井 孝
監査役 (社外) 村 松 奈 緒 美
- 従業員数 2,787名 (連結)

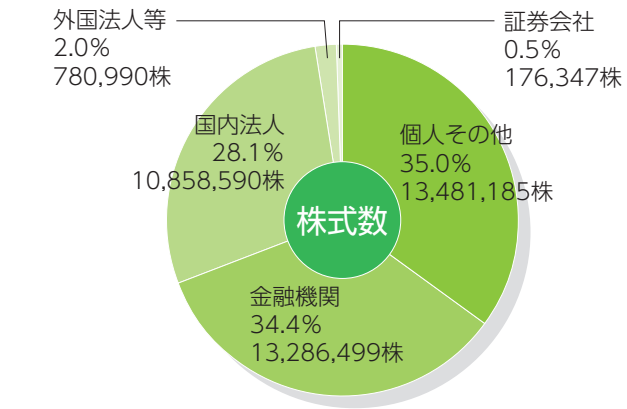
- 発行可能株式総数 120,000,000株
- 発行済株式総数 40,338,708株
(自己株式1,755,097株を含む)
- 1単元の株式数 100株
- 株 主 数 3,684名

■ 大 株 主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
中部瓦斯株式会社	5,921	15.35
サーコーポレーション従業員持株会	2,389	6.19
ガステックサービス共栄会	1,895	4.91
中部ガス不動産株式会社	1,833	4.75
三井住友信託銀行株式会社	1,823	4.72
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,560	4.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	1,524	3.95
株式会社静岡銀行	1,495	3.88
株式会社三井住友銀行	1,197	3.10
株式会社みずほ銀行	957	2.48

- 当社は自己株式1,755千株を保有していますが、上記大株主から除いています。
- 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

■ 所有者別株式分布



- 当社は自己株式1,755千株を保有していますが、上記分布から除いています。
- 比率は自己株式を控除して計算しています。

会社一覧

今回の新体制への移行に伴い、「ガス＆パワー事業」及び「ハウジング事業」を新設いたしました。

新たなサーラグループは、当社及び当社連結子会社34社で構成されます。サーラグループ各社は、今後も、共通の基本理念のもと互いに連携し、より一層お客さまの暮らしや地域社会に根ざした事業を展開していきます。

ガス＆パワー事業

事業内容 ガス供給及び販売、
ガス器具販売及び配管工事、電気供給事業

事業エリア 愛知、静岡

中部瓦斯（株）	（株）ガスリビング中部
（株）ガスリビング浜松西部	（株）ガスリビング浜松北部
サーラガス磐田（株）	サーラeエナジー（株）
サーラeパワー（株）	

エネルギーサプライ＆ソリューション事業

事業内容 LPガス、石油製品、高圧ガス及び関連機器の販売、
リフォーム、エネルギー輸送、資産賃貸

事業エリア 愛知、静岡、岐阜、神奈川など1都11県

ガステックサービス（株）	グッドライフサーラ関東（株）
サーラ物流（株）	（株）リビングサーラ
サーラの水（株）	三河湾ガスターミナル（株）
（株）日興	神野オイルセンター（株）

エンジニアリング＆メンテナンス事業

事業内容 都市インフラ整備、設備工事・メンテナンス

事業エリア 愛知、静岡、東京など1都3県

（株）中部	神野建設（株）
（株）鈴木組	（株）中部技術サービス
テクノシステム（株）	西遠コンクリート工業（株）

ハウジング事業

事業内容 注文住宅の請負、建物のリフォーム請負、
建築資材・住設機器等の販売

事業エリア 愛知、静岡、三重、神奈川

サーラ住宅（株）	中部ホームサービス（株）
サーラハウスサポート（株）	エコホームパネル（株）

カーライフサポート事業

事業内容 フォルクスワーゲン9店舗・アウディ3店舗（正規
ディーラー）、車検・整備、オートリース

事業エリア 愛知、静岡、東京

サーラカーズジャパン（株）

アニマルヘルスケア事業

事業内容 ペット用医薬品・療法食、動物用医薬品、
畜産用機械設備、小動物医療機器の販売

事業エリア 愛知、埼玉、広島、宮城など1都2府15県

（株）アスコ	大和医薬品工業（株）
--------	------------

ホスピタリティ事業

事業内容 ホテル事業、飲食店事業

事業エリア 愛知、静岡

ガステックサービス（株）

その他の事業

事業内容 不動産事業、割賦販売及びリース、情報処理業 等

事業エリア 愛知、静岡

中部ガス不動産（株）	サーラスポーツ（株）
サーラフィナンシャルサービス（株）	（株）サーラビジネスソリューションズ
新協技研（株）	（株）エス・アール・ビー

- **事業年度** 12月1日～翌年11月30日
- **定時株主総会** 毎年2月中
- **基準日** 定時株主総会の議決権・期末配当 11月30日
中間配当 5月31日
- **株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関**
〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- **株主名簿管理人事務取扱場所**
〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- **郵便物送付先**
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- **電話照会先** ☎ **0120-782-031**
- **取次窓口**
三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
- **公告方法** 電子公告（当社ホームページに掲載します）
<http://www.sala.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

当社では、日頃の株主の皆さまのご支援に対する感謝の気持ちを表すとともに、当社グループへの一層のご理解を賜りたく、以下のとおり株主優待制度を実施しています。

- **対象**
毎年11月末日現在において、500株以上所有の株主さま
- **内容**
ご所有の株式数に応じて、下表の金額分の株主優待券をお届けしています。
株主優待券の有効期限は一年間となります。

所有株式数	優待内容
500株以上 5,000株未満	1,000円分の株主優待券
5,000株以上10,000株未満	5,000円分の株主優待券
10,000株以上	10,000円分の株主優待券

- **ご利用方法**
株主優待券は、当社グループのガステックサービス株式会社が販売するガス機器、同社が運営するガソリンスタンドでの給油・洗車、ホテルアークリッシュ豊橋での宿泊、同ホテル内のレストランでの飲食などにご利用いただけます。



株主優待カタログ'16

ご利用店舗がお近くにない株主さまには、株主優待券相当分の商品をお送りさせていただきます。

※上記内容は予告なく変更する場合があります。